



2020年1月10日

各電気引込工事センター
代表取締役社長、代表社員 様

(株)静岡県電気工事協力会

「一般工事店における墜落災害」の周知および
依頼事項安全点検等の実施について（依頼）

題記について、墜落災害の周知および依頼事項の安全点検等について、下記のとおり実施
いただきますようお願いいたします。

記

1 事 象

電灯引込線新設工事を一般工事店に施工依頼をして、一般工事店の作業者が柱上作業中
に安全帯D環部分の付け根（縫い目）がちぎれ約6m付近から墜落した。

（詳細は、別紙「事故報告書」を参照。）

2 依頼内容

直営班・協力工事店各位に墜落災害の事象を周知いただくとともに、下記の依頼事項
について実施いただきますようお願いいたします。

(1) 依頼事項

①本事象について作業員全員に周知を実施する。

②すべての「安全帯および胴綱の安全点検」を実施する。

③関係者に対し、「引込線および内線工事共同受注業務規程」第16条（工事の指定）・
第20条（工事の作業員）を基に再徹底する。

3 添付書類

別紙：「事故報告書」および「現場状況写真」

以 上

事故報告書

		センター	関係者	発行
報告区分	中電関係分・その他	〇〇	—	〇〇
受信	令和2年1月9日(木) 17時00分	報告元 (株) 〇〇電業社		
事故の種類	感電・ 墜落 ・災害・交通・ その他 (従事者ランク外施工)			
発生日時	令和2年1月9日(木) 14時50分		天候 晴れ	
現場	場所	電柱番号		
	長野県〇〇市大字〇〇	601982		
罹災者	直営班(専任班・直営班)ー 協力工事店 A B C			
	従事者ランク s a b c 対象外 公衆ー男・女ー死亡 負傷			
	工事店名	氏名	満年齢	
(株) △△電工	◎◎ ○ (作業責任者)	60歳		
(一般店)	△◎ ○○ (被災者 柱上作業者)	25歳		
	○○ ○○ (相番者)	72歳		
<p><申込内容></p> <p>○従量電灯B 30A新設(単相三線式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施主: 〇〇建設株式会社(資材加工場) ・ 工事概要 … 新設: 3.2DV3 10m(直接引込、道路横断無し) <p>添付書類(「現場状況写真」参照)</p> <p><被災者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経歴…入社3年目、前職は整備工 ・ 服装…短靴、ヘルメット、低圧ゴム手袋着用、安全带(補助バンドなし)、胴綱 ・ 容態…背骨2か所骨折、感電なし <p>全治不明、(1/9の診断書発行は不可) 2週間以上入院し様子を見る。</p> <p><経緯></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年12月13日(金) <p>(株)〇〇電業社の担当者は、上記内容をインターネットにて申し込んだ。その際、当該工事が直接引込工事となり自店での施工が可能であることから「自店施工」とした。</p> 2 12月25日(水) <p>伝票交付(供給承諾)</p> 3 12月下旬 <p>〇〇電業社〇〇さんより、現地にて(株)△△電工〇〇さんへ引込、計器、内線工事の施工の打診をした。協力会社であるため、内線工事だけでなく引込、計器工事も施工してもらおうと助かると考えていた。</p> 4 令和2年1月初旬 <p>〇〇電業社の〇〇さんは、(株)△△電工が一般店であることは知っていたが、口頭にて引込線、計器作業の施工指示をした。なお、施工指示は今回が初めてであった。</p> 				

5 令和2年1月9日(木) 13:15

〇〇市の当該現場へ到着した。作業責任者の◎〇さんより作業内容を口頭にて説明しTBM-KYを実施した。ただしTBM-KY記録票、引込内線工事設計図はなし。

6 同日 13:20

引込線材料を確認したところ、Bスリーブ2本とスリーブカバーが無いため、◎〇さんを(株)△△電工の倉庫へ取りに行かせた。その間に◎〇さんと△〇さん2名は電柱周囲の伐採と引込線の家屋側支持点取付作業を実施した。

7 同日 14:15

◎〇さん、△〇さん2名で柱上側の引込線工事を開始した。なお、△〇さんは今回が初めての柱上作業であった。

8 ◎〇さんが引込線を低圧線N線に接続した。

9 同日 14:30

不足材料以外の工事が完了したため、2名とも降柱した。その後、◎〇さんが到着し材料を受け取り再び2名で昇柱した。

10 △〇さんが補助胴綱を低圧腕金の下の本柱に回すように取付けた。

11 低圧ゴム手袋を着用し、ヒューズ電線を低圧線の黒線と接続しようとした。

12 ヒューズ電線を接続しようとした際、体を伸ばしたら安全带左右のD環部分付け根(縫い目)が同時にちぎれ、「あっ」という声とともに約6m付近から墜落した。

13 足から盛り土の上に着地した。胴綱は柱上に残されたままであった。(安全带および胴綱は、警察による現場検証後に押収されたため、詳細は不明)

14 ◎〇さんは降柱し△〇さんを救護し、◎〇さんが救急車を呼んだ。

15 △〇さんは意識があり会話はできた。救急車が到着し搬送され、また、警察が到着して現場検証をおこなった。

16 被災者は〇〇病院へ搬入され、2週間以上入院し様子を見ることとなった。

以 上

